

[006] 語文研究表紙奥付等

<http://hdl.handle.net/2324/10262>

出版情報：語文研究. 6/7, 1957-12-30. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：



故 杉浦教授追悼号によせて

福 田 良 輔

畏友杉浦正一郎教授が癌疾のために天寿を全うしないで逝かれてから、はやくも一周忌を迎へようとしてゐる。今更ながら惜しまれてならぬ。

杉浦さんは昭和二十五年秋北海道大学から九州大学文学部に転任し、昭和三十二年の早春病に斃れるまで、主として国文学の方を担当して学生の研究指導に尽された。

本号は、杉浦さんが在任中研究指導された学生の論文を中心に編集して、杉浦さんの御霊に捧げることとした。

いづれも力作の好論文で、杉浦さんの御霊も、例の独特の微苦笑を浮かべながら、快く読んでくれることと思ふ。

故 杉浦正一郎教授略歴及び主著（「文学研究第五十六輯」昭三二・七より抄出）

○ 一、明治四十四年二月九日出生

一、昭和 九 年三月

東京帝国大学文学部国文学科卒業

一、同 四月

天理高等女学校教諭

一、昭和 十三年四月

天理女学院教授兼天理図書館司書

一、昭和 十五年四月

千代田女子専門学校教授

一、昭和 十七年七月

佐賀高等学校教授

一、昭和 二十三年二月

北海道大学助教授

一、昭和 二十五年十月

九州大学助教授

一、昭和 二十八年八月

九州大学教授（国語学国文学第二講座担当）

一、昭和 三十二年一月十九日

文学博士

一、同 二月二十三日

逝去享年満四十六才

○ 「貝おほひ」複製並びに解説

（昭二〇）養徳社

「校註奥の細道」

（昭二四）武蔵野書院

「日本文学講座四」近世の文学―講義―

（昭二六）河出書房

「新註猿蓑」

（昭二六）武蔵野書院

芭蕉講座第五・第九卷

（昭二六）三省堂

向井去来―俳人去来評伝―

（昭二九）去来顕彰会

「芭蕉集」現代語訳日本古典文学全集

（昭三一）河出書房

おくのほそ道 岩波文庫

（昭三二）岩波文庫



在リシ日の杉浦教授